令和３年４月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和３年４月１日（木）
２．開 催 日 時　令和３年４月２０日（火）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２２人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１６人（Web 会議システムによる出席１６人）
７．出席監事数　３人（Web 会議システムによる出席　３人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、大屋 和雄、宗村 進之介、上島　健、秋山 正稔、玉木 寛之、山田　毅、田村 大輔、富居 博治、横山 聡洋、平井 英次、安室 篤志
９．出席監事の氏名
川崎一郎、池田 隆久、川村 道夫
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　賛助会員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、令和２年度末（令和３年３月３１日）で脱退の申し出があった賛助会員について報告があり、年度末の組合員数８１社、賛助会員数４６社、計１２７社になることの説明があった。

礎通商株式会社　代表取締役社長　水村龍一
三和油化工業㈱茨城事業所　代表取締役社長　柳　均

嶋崎議長は、組合員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　第 50 回通常総会について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から資料に基づき、開催日時、場所、当日のスケジュール及び提出議案等について説明があった。

第５０回通常総会　令和３年５月１９日（水）１０：３０～、ビジョンセンター田町

続いて、提出議案について第５０回通常総会資料案に基づき、第１号議案令和２年度事業報告、第２号議案令和２年度決算報告、第３号議案令和３年度事業計画案及び令和３年度収支予算案、経費賦課および徴収方法の件、第４号議案役員報酬決定の件、第５号議案定款一部変更の件、第６号議案定款変更認可申請における字句の一部修正委任の件、第７号議案役員の選挙の件については、安室事務局長からそれぞれ詳細な説明があった。

川崎監事から、４月１９日に行われた令和２年度監査会の結果について適正に執行されていた旨の報告があった。

嶋崎議長から、前期繰越金が多いことについて触れられ、玉木理事から、他団体では会費を減免しているところもあるとの意見があった。嶋崎議長から、ご意見ご要望があれば事務局までお願いしたい旨述べられた。

原田副理事長から、事務所のある三田慶応ビジデンスの築年数が経っているので、創立５０周年を機に会議ができる事務所を検討しても良いのではないかとの意見があった。

嶋崎議長から、５月で定年を迎える安室事務局長については、使用人兼務役員として再雇用し、給与については役員報酬として処理をすることについて説明があり、全員意義なく承認された。

嶋崎議長から、任期満了による役員改選については、総会決議後に新役員で理事会を行い理事長、副理事長及び専務理事等を選出することになっていることの説明があった。

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、今回もコロナ禍での開催となり、密を避けるために組合員の参集が困難なため、昨年に引き続き書面議決書による出席を考えたが、書面議決書では役員改選に関する選挙権の行使ができないことの説明があった。そこで、委任状による出席をお願いしたいが、総会成立には、本人主席が必要なため、理事及び監事に参集をお願いしたいことの説明があった

嶋崎議長から、無理のない範囲で会場に参集いただきたい旨述べられた。

嶋崎議長は、第５０回通常総会について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　令和３年度行事予定について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき令和３年度の行事予定について、理事会については、年間６回予定していることの説明があった。

嶋崎議長から、６月の一般社団法人日本金属熱処理工業会の総会については、大阪で祝賀会も兼ねて行う予定だが、変更になる可能性について報告があった。東部の理事会、委員会及び講習会については、集合型とオンライン型の併合で行うようになるのではないかと説明があり、柔軟に対応して行きたい旨述べられた。

田村理事から、総会のオンライン型での開催が可能なのかとの質問があり、嶋崎議長からまだ組合法等の整備が出来ていないことの説明があった。

横山理事から、役員改選後の理事会の開催について質問があり、嶋崎議長から総会終了してからの開催を考えていることの説明があった。

田村理事から、オンラインで総会の模様を見るようにできないかとの質問があり、嶋崎議長からオブザーバーとしての参加について東京都中小企業団体中央会に確認する旨述べられた。

嶋崎議長から、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、２月１９日に開催された令和２年度第３回青年部会について、今回も関東経済産業局から猪俣課長以下5名参加があったことの報告と内容について議事録に基づき説明があった。主な内容については以下の通り。

①関東経済産業局から補正予算案と「CASE」「MaaS」「カーボンニュートラル」に関する情報提供、②令和３年度の活動計画について（ア．「CASE」「MaaS」「カーボンニュートラル」「EV化」等をテーマにしたセミナーの開催について、イ．熱処理業界のPRについて、ウ．関東経済産業局との連携について、エ．メンバーの意見や要望について）、③最近の状況を含めた市場動向について

田村部会長から、「CASE」「MaaS」「EV化」等に詳しい講師に講演会をお願いし、組合員に有益な情報を提供し、今後の熱処理業界の進むべき方向性が見出せればと考えている旨述べられた。

嶋崎議長から、近い将来に大きな変動が来る見通しであることから今後提言をしてほしい旨述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、２月９日に実施された令和２年度第５回 BCP 推進 WG について、議事録に基づき説明があった。

主な内容としては、①組合のマニュアルについて、②参加企業の BCP の近況について、③エリアの仕組みについて、④実施訓練に向けた取り組みについて

玉木理事（リーダー）から、ア．東京と神奈川のエリア分けについては、地区で分けて実施しながらブラッシュアップして行くこと、イ．エリア分けの際に連携型の組合 BCP の内容について理解してもらうためのチラシの作成を検討していること、ウ．中小企業基盤整備機構のホームページの事例紹介について、エ．昨年１２月に内閣府のアンケート調査があり、WG について掲載が予定されることの説明があった。

嶋崎議長から、BCP の重要性が高まって来ているので、少しずつ形づくりをしてまとめ上げて欲しい旨述べられた。

続いて安室事務局長から、２月１６日 Web 開催のマーケティング委員会について報告があった。主な内容としては、①令和３年度の事業計画について（価格サポートセミナーのハイブリット型で開催等）、②売上高調査結果について、③市場動向に関する情報交換について

南副理事長から、情報共有を行いながら進めて行きたいことと金属熱処理業あんしん保険のこともあり、一般社団法人日本金属熱処理工業会とも連携しながら進めて行きたいことが述べられた。

嶋崎議長から、金属熱処理業あんしん保険について制度の見直しが考えられていることの説明があり、上島理事から保険料の割引や割増の導入やオプションの設定や運送中の補償について検討されていることの説明があった。

続いて安室事務局長から、３月５日 Web 開催の第４回総務委員会について報告があった。主な内容としては、①リニューアルした組合ホームページのバナー広告について、②令和３年度の事業計画について、③一般社団法人日本金属熱処理工業会総務委員会について

原田副理事長から、ア．ホームページのバナー広告については、スマホで見た時にトップページが見づらいことから検討することになったこと、イ．創立５０周年の実行委員会が立ち上がった時に総務委員会が関わってくること、ウ．取組みついて意見を募り、熱処理業界の PR 動画の作成の意見が多かったことについて説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、令和３年１～３月の組合員の異動について報告があった。関東経済産業局と東京都産業労働局については異動がないことも報告があった。

続いて第７期東京工業大学製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスター・プログラム」が４月１０日から対面（９名）とオンライン（１１名）を合わせたハイブリッド型でスタートしたことの報告があった。

今回初めての試みとしてハイブリット型で実施した「初級熱処理塾」が大きなトラブルもなく無事終了したことの報告があった。対面参加１２名、オンライン参加５名。今回、技術及び品質委員にオンライン機器の操作に協力いただいたことの報告があり、事務局から謝辞があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和３年４月２０日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

出席理事　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞